

南が丘地区

揺れやすさマップ

計測震度

- 震度6弱 (5.50-5.74)
- 震度6弱 (5.75-5.99)
- 震度6強 (6.00-6.24)
- 震度6強 (6.25-6.49)
- 震度7 (6.50-)



津波警報発表時は原則開設しない指定避難所



南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

想定項目	南が丘地区	津地域	津市全域	
最大震度	震度7	震度7	震度7	
液状化危険度	極めて高い	極めて高い	極めて高い	
建物被害全棟棟数	揺れ	298棟	14,025棟	23,949棟
	液状化	5棟	623棟	741棟
	土砂災害	1棟	33棟	177棟
	津波	12棟	6,306棟	6,934棟
計	316棟	20,986棟	31,801棟	
火災被害	総出火件数	1件	40件	62件
	焼失棟数	126棟	4,128棟	5,378棟
人的被害	死者数	17人	1,463人	2,118人
	負傷者数	140人	5,876人	10,720人
	重傷者数	30人	1,508人	2,620人
	要救助者数	7人	1,411人	1,430人
	避難者数	1,379人	78,338人	103,557人
インフラ被害	上水道(断水人口)	6,582人	159,997人	279,500人
	下水道(支障人口)	1,226人	29,118人	32,895人
	電力(停電軒数)	1,708軒	57,971軒	120,308軒
	通信(不通回線数)	1,344回線	48,554回線	78,679回線
	ガス(支障戸数)	882戸	28,020戸	40,737戸

津波浸水深マップ

- 最大浸水深
- 0~50cm
- 50cm~1m
- 1m~2m
- 2m~5m
- 5m以上
- 平成23年度三重県津波浸水予測範囲

津波避難の場所

- 「避難は徒歩が原則」
家の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるため、歩いて避難しましょう。
- 「想定にとらわれない」
想定以上の被害が起こることもあります。想定にとらわれないで、その時の状況を見極めて行動することが大切です。
- 「率先して避難する」
要否を待たずに率先して避難すれば、その被害を減らすことができます。また、多くの命を救うことができます。
- 「最善を尽くす」
お住まいの地域や状況に応じて、できる限り早く、かつ安全な避難行動をとりましょう。
- 「地域での協力が大切」
お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて、一緒に避難するなど、ご近所助け合いましょ。
- 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってくる。避難するときは、河川から離れる方向に避難しましょう。
- 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても早く避難できない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難ビル」に避難してください。

津波浸水時間マップ

- 浸水深が30cmに到達する時間
- 地震発生～5分
- 6～60分
- 61～75分
- 76～90分
- 91～115分
- 116～130分
- 131～145分
- 146～160分
- 161～175分
- 176分～



津波避難ビルは、津波から避難する際に、逃げ遅れた人など、どうしても早く避難できない人に少しでも安全な高い場所を確保するための指定した建物です。

津波避難ビルは、津波避難ビルと同様に少しでも安全な高い場所を確保するための指定した建物ですが、所有者や管理者が指定した日及び時間により避難できる建物です。

時間ごとの浸水の要因 (地震発生～約12時間)

5分 1時間 12時間

場内からの浸水 地盤沈下に伴う浸水 津波到達による浸水

※津波の最大浸水深が30cm未満の場所は着色されていません。

